

どうする?!
子どもたちの
学び舎

「長期学校改築計画」の策定に向けて 「市民学習会」を開催しました

～計画の『たたき台』をつくって議論を進めていきます～

10月5日午後7時から、市民交流センターのステラホールで「長期学校改築計画に関する市民学習会」を開催しました。今回の学習会は、去る5月14日の「学校改築市民懇話会」でいただいた意見をもとに、次の2点をテーマとして開催したもので、あいにくの雨模様の天候にもかかわらず約100名の皆様にご参加いただきました。

1. データによる情報の共有

あらためて市民の皆様と行政とが共通の認識に立つために、データに基づいて基本的な状況を確認・共有する。

2. 『たたき台』をつくり、実効ある議論を進めるための方法

長期学校改築計画策定の進め方について、市民の皆様からご意見を伺う。



学習会では、まず、教育委員会事務局から「学校施設の現状」「児童・生徒数の見込み」「学校改築費用の試算」など学校改築に関する基本的なデータを、また、財政課から「小諸市の財政状況」についてのデータをお示ししました。

その後、参加した皆様と意見交換を行い、次のような基本的な方向性についてご賛同をいただきました。

1. 計画の『たたき台』をつくるために、検討組織を設置します。

2. 検討状況について、市民の皆様へお知らせしていきます。

3. 検討組織と市民の皆様との意見交換の場などを設けます。

当日お示した主なデータなど 当日の資料も含め、詳しくは、学校教育課窓口と市ホームページでご覧いただけます。

児童・生徒数の推計 (単位:人)

学校名	H26	H31	H36	H46	H56
	基準	5年後	10年後	20年後	30年後
東小	415	397	376	302	238
野岸小	342	291	233	187	157
坂の上小	368	283	244	177	129
水明小	357	352	303	262	235
千曲小	103	87	84	54	34
美南ガ丘小	709	676	685	645	591
小諸東中	667	669	631	599	549
芦原中	472	417	349	298	245

- ・児童・生徒数は、このように減少していく推計です。
- ・これに伴って、学級数も減少し、学校の規模は縮小していきます。
- ・小学校は、やがて3校が小規模校になり、さらに複式学級も視野に入れなければならない見込みです。

学校名	最も古い校舎の建設からの年数
東小	47年
野岸小	52年
坂の上小	46年
水明小	42年
千曲小	35年
美南ガ丘小	50年
小諸東中	26年
芦原中	17年

・小学校のほとんどが、築40～50年の建物です。

仮に、小学校6校を現在の児童数の規模で改築すると…

校舎だけでも101億円かかる見込みです!(体育館等は除いた試算です。)

[主なご意見]

- ・小学校の校舎は、建築後40年から50年が経過している。早急な決断と対応が必要である。
- ・施設の長寿命化という視点は重要である。それも踏まえて改築計画を考えてほしい。
- ・検討組織をつくって議論を進めて欲しい。同時に、その議論を市民が共有できるようにして欲しい。
- ・災害時の避難場所や地域コミュニティの拠点などの学校の多様な機能、施設複合化、小中一貫校などについても検討を。

～今後は、いただいたご意見を踏まえて、具体的な進め方を決定し、計画策定に取り組んでいきます～

▼問い合わせ先 学校教育課